

第2回足近小学校学校運営協議会 議事録（要旨）

会議名：第2回足近小学校学校運営協議会

開催日時：令和7年9月12日 10時～12時

会 場：羽島市立足近小学校 会議室

出席者：14名

- ・足近町自治会長
- ・足近町コミュニティセンター協議会会長
- ・足近町コミュニティセンター館長（地域学校協働活動推進員）
- ・足近町民生児童委員会長
- ・足近町老人クラブ連合会会長
- ・足近町青少年育成会長
- ・主任児童委員、社協足近支部長
- ・主任児童委員
- ・足近保育園園長
- ・足近コミュニティセンター指導員
- ・足近小学校 PTA 会長
- ・羽島市教育委員会学校教育課指導主事
- ・足近小学校校長
- ・足近小学校教頭

1 協議会長あいさつ

2 幼保小「架け橋プラン」説明（羽島市教育委員会学校教育課指導主事）

- ・ 羽島市では令和4～6年度に「幼保小連携推進協議会」を立ち上げ、大学有識者、小学校代表校長、教育長、園・保育園代表、関係部署が参画し、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえた幼小接続カリキュラムを検討・整備を実施。
- ・ 足近小学校では1年1組の隣に「のんびり教室」を設け、朝の会の前に自分の好きな遊びで気持ちを整えられる環境を整備し、児童の1年生のスタートを滑らかにする取り組みを行った。これは、昨年度モデル校区の実践を踏まえた取り組みであり、1年生の良いスタートにつながっている。
- ・ 夏休み期間には、小学校の先生が校区の保育園で園実習を行う取り組みを継続しており、今年で3年目です。遊びを通した学びを小学校の自覚的な学びへつなぐ視点で、互いに学び合っている。
- ・ リーフレットは、入学説明会で新1年生保護者へ配布予定。

3 学校の現状報告（校長、教頭）

4 授業参観

5 意見交換・質疑

（委員）

どの学年もタブレット活用が定着しており、先生方の指導にも感心した。AI を含め選択肢が増える中で、何をどう選択するか児童の判断力を育ててほしい。

（委員）

エアコンの運用は担任の判断か。

（教頭）

担任の判断。登校前にエアコンを入れ、教室を冷やして児童を迎え、熱中症の予防に努めている。

（委員）

端末を忘れた場合の対応は？

（教頭）

予備機の貸出が可能。

（委員）

児童の姿勢や集中が素晴らしい。少子化で学級規模が小さくなる中、校内係活動は、現状に合わせて見直しを進めるとよいのではないか。

（校長）

前例踏襲をやめ、今の子どもたちに必要な活動を自分たちで考え、創ることを大切に行っている。児童自らが目標を立て、方法を選び、協働して実現する指導を進めている。

（委員）

米づくりや食料自給率をテーマに話し合う授業が印象的。タブレットは有効ですが、紙と鉛筆の学びとのバランスも意識するとよいのではないか。

（校長）

ICT は目的に応じた選択的活用を基本に、学校生活全体で資質・能力を育成している。

（委員）

園では一斉保育から「やりたいことに遊び込む」環境づくりを進めている。小学校への接続支援や保護者支援をさらに強めたいと考えている。

（委員）

低学年からの積み重ねが功を奏し、自分の考えを言語化する力が育っていると感じた。

(委員)

AI 等の ICT を活用した学びだけではなく、五感で感じる学びの両立が大切と考えている。

6 校長あいさつ